

週刊

学びのコミュニティ

第14号

平成21年5月27日発行

“学びのコミュニティ”に寄せて

新年度が始まりゴールデンウィークも過ぎました。学生のみなさんも落ち着いて勉学に励んでいることと思います。新型インフルエンザの驚異の中で油断は禁物ですが、身心ともに健康な学生生活を送れればと願うばかりです。

私は、この4月から全学共通教育センター長としての仕事を担うこととなりました。全学共通教育は広い意味での教養教育であり、基礎教育でもあるわけですが、もともとは800年にわたる大学の歴史において“ユニバーシティ”を支えるものが、この“教養”でした。時代とともにその内容は変遷してきたのは事実ですが、わが国

でも高度経済成長時代の専門
家養成を意識した時代から、現
在においては人間性、人間力の
育成が大学教育において求め

られる時代となりました。学生のみなさんも、おそらくは制度としては、幅広い分野の教育を受け、それを学ぶ機会としては全学共通教育が最後になるかもしれません。ここで培ったものを、専門教育においても卒業後の社会生活においても自らが学び続ける契機となることを願って止みません。

学びのコミュニティは“ユニバーシティ”という共同体をも意味します。大学内でいくつものコミュニティが創られ、それらの間にさらに大きなコミュニティが創られる・・・そんな徳島大学でありたいものです。その中心は常に学生のみなさんです。私たち教職員、社会人も交えて果敢に努力を積み上げていくつもりです。ともに頑張りましょう。

(全学共通教育センター長 荒木秀夫)



“社会人ボランティアの声”

以前この紙面上でも、社会人の方の声をお届けしたことがあります。ホームページ上では「学ぶ・語る・出会う」と題して、共創科目を受講されている社会人の方のインタビュー録を掲載しています。受講した目的・印象、これまで歩んできた道、自分にとっての学び、学生さんへのメッセージ・・・たくさんの質問に答えて頂いております。その方が語った言葉のまま載せておりますので、生き生きとした表情、学ぶ意欲に燃える姿が目に見えるようです。学ぶとは、教育とは、生きるとは・・・“生の声”から考えるきっかけになってくれればと思います。今後も続々と更新して参ります。お楽しみに！

カンパ缶を設置しました！

多くの学生さん、社会人の方の出入りがあるこの学生支援室。みなさんに気兼ねなく利用して頂こうと、カンパ缶を設置。10円入れて頂いたら、全ての飲み物を自由に飲んで頂けるシステムです。たくさん貯まったら、飲み物やお菓子に換えて、みなさまに還元していきたいと思っております♪

～編集後記～

相田みつをさんの作品に『生きてきて楽しいと思うことの一つ それは人間が人間に逢って 人間について話をする時です』という詩があります。人と出会い、人と語り合う。人はそこから多くのことを学ぶことと思います。人からの学びほど、胸を打つものはないのかもしれませんが、『そのときの出会いが 人生を根底から変えることがある よき出会いを』(境)

